

冬の八ヶ岳に登る

硫黄岳

実施日 2012年3月4日(日)～5日(月)
 天候 4日 晴れ／5日 雪のち雨
 リーダー 島本 陳重
 参加者 島本 陳重、鈴木 恵美子、渋谷 賢寿、渋谷 京子、中村 友子、石原 勝正 計6名
 費用 JR11,740円(新宿起算)
 宿泊費11,000円
 タイム 4日 茅野(9:20)桜平(10:20)夏沢 鉱泉(10:30～11:25)オーレン小屋(12:25～12:40)箕冠山(13:40～14:00)夏沢峠(14:30～15:00)オーレン小屋(15:10)夏沢 鉱泉(15:45)
 行動時間4時間30分
 5日 夏沢 鉱泉(7:40)オーレン小屋(9:00～9:20)夏沢峠(10:20～10:30)オーレン小屋(11:15)夏沢 鉱泉(11:55～13:00)桜平(14:20)茅野(14:20)
 行動時間4時間15分

4日 硫黄岳に行くつもりで支度を終えたが、硫黄岳からの下山者によると、風が強く雲の中で見透しがきかない、一時はホワイトアウトにも。予定を変え箕冠山に向かう。



多くの登山者に出会い、道もしっかきがついている。周りの木にも目印があり、踏み後がなくとも、歩けそうだ。箕冠山から根石岳に向かう。樹林帯を過ぎ根石山荘の近くまで下りると風が強く、いっきに熱を奪われる。明日の硫黄岳にも登れる可能性は少ないし、根石岳で冬の寒さを経験のすいというが、明日の硫



黄で悪くても森林限界まででは
 行同じ条件を味わうことが
 きると思いきらめる。

予定を変更し箕冠山から夏沢峠に向かう。ここも踏み後があり、目印もついている。硫黄岳は森林限界の上で雲の中。1時間弱で小屋に着く。硫黄には行った二人組みに聞くと硫黄は雲の中だったがケルンは見えたそう。

5日 朝から雪と風。オーレン小屋までは先行の2人組みが歩いた後を歩くが、二人組みは箕冠山に向かっている。ここからは30センチくらいの新雪、木のないところは50センチを、踏み抜きながら歩く。

体が汗ばんできたところで、先頭を全員で交代で新雪を踏みつける。

夏沢峠に近づくとき、後から上までしきものもなく、ひざ上までの雪の中にもぐりこむ。森林限界までは思っていたが、夏沢峠からは森林といっしょに木がなく、ひざ上の雪を覚悟しなければいけない。

昨日は夏沢峠からオーレン小屋まで10分で下り、今日はその道を一時間かけて登った。雨の日に、小屋のアンちゃんがいなかったが、暖かいと言っていたが、手袋がぬれ指先が冷える。



厳しさをきかされたと思いたったが、なか中な途感になってしまった。

もう一步踏み込む勇気が必要だったかも。

小屋の従業員の対応も良く、湯たんぽの暖かさで気持ちのよい夜をすごせた。参加された皆さんありがとうございました。

(記・島本 陳重)

(写真提供・石原 勝正)